

▼アデール点滴静注用 [注]

- 【重要度】 【一般製剤名】 コルホルシン ダロパート塩酸塩 colforsin daropate hydrochloride 【分類】 急性心不全治療剤
- 【単位】 ▼5mg・▼10mg/V
- 【常用量】 0.5 μ g/kg/min [最大0.75 μ g/kg/min]
- 【用法】 点滴静注 [通常72hrまでの投与]
- 【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (5) 腎機能障害のある患者では心室性頻拍、心房細動等の発現率が高くなるため慎重投与 (1)
- 【保存期CKD患者への投与方法】 減量の必要なし (5) 腎機能障害のある患者では心室性頻拍、心房細動等の発現率が高くなるため慎重投与 (1)
- 【特徴】 β 受容体を介さずアデニル酸シクラーゼを活性化し、陽性変力作用と血管拡張作用を示す急性心不全治療薬
- 【主な副作用・毒性】 心室性頻拍、心室細動、動機、頻脈、頭痛・頭重感、熱感など
- 【代謝】 CYP3Aにより代謝され、主代謝活性物M-1は未変化体とほぼ同等の活性あり (1)
- 【排泄】 主に胆汁排泄 (1) 尿中未変化体排泄率10.8~17.8% [iv, 24hrまで] (1)
- 【CL】 1~1.5L/hr/kg (1)
- 【t1/2】 α 相 約5min, β 相 2~3hr (1)
- 【蛋白結合率】 54.2% [アルブミン, AAG] (1)
- 【Vd】 2.3~3.6L/kg (1)
- 【MW】 546.09
- 【透析性】 透析性は軽度と思われる (5) 資料なし (1)
- 【TDMのポイント】 有効血中濃度10ng/mL (未変化体と活性代謝物M-1の和) と推定 (1) 【O/W係数】 100以上 [オクタノール水系, pH7] (1) 【pKa】 8.6
- 【相互作用】 CYP3A4の基質である (1) 他の強心薬：不整脈誘発に注意 (1)
- 【更新日】 20151209

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。